

よくとれる！ 大きいいちご「空知35号」

概要 Abstract

春どり栽培でつくられているいちご「けんたろう」は、品質が良いため高く評価されています。しかし、収量の点では少し物足りないとの声が聞かれます。産地では生産者の高齢化が進んでおり、作業の省力化も課題です。このため、新品種「空知35号」を育成しました。

成果 Results

特徴 (無加温半促成作型での「けんたろう」との比較)

1. 大果で、規格内収量がやや多い。→図1
2. 生食用で求められる高単価な規格(L以上)の割合が高い。→図2
3. 総収穫果数が少なく、収穫作業の省力化が見込まれる。
4. 果実外観および食味は総合的に同等。
5. 重要土壌病害に対し同等以上の抵抗性。
6. 収穫初期の奇形果収量が多い。

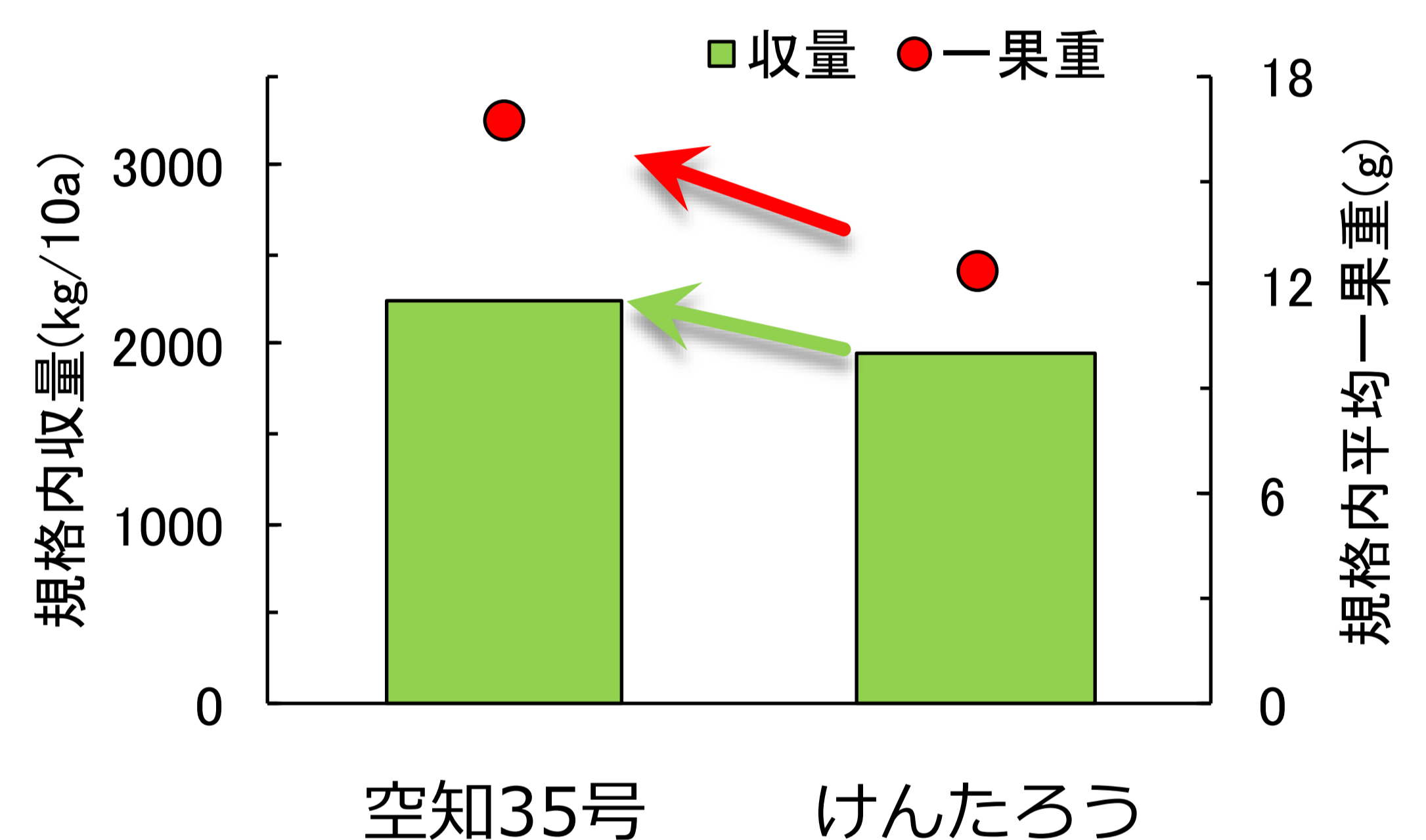


図1 収量・一果重

※農試、現地試験結果の平均値(平成25~27年、n=11)。

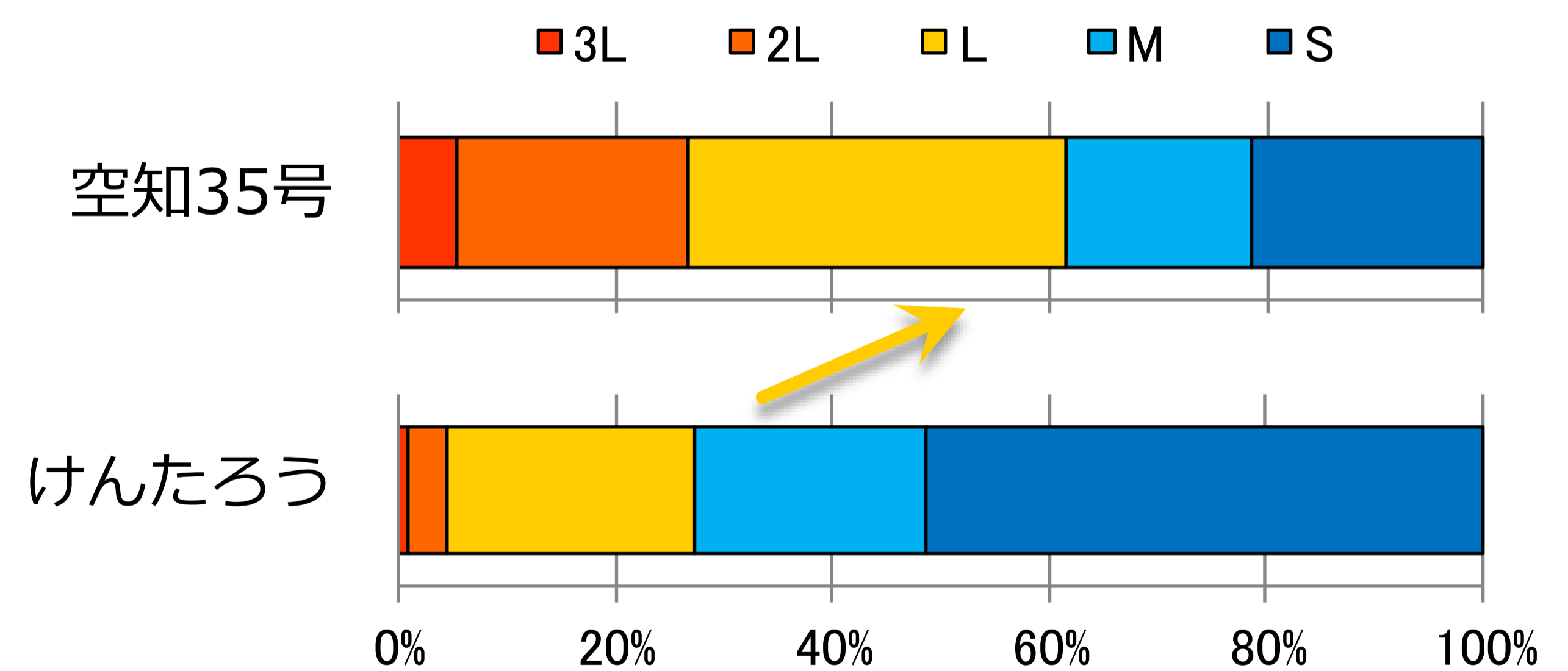


図2 規格別収量割合

※3Lは30g以上、2Lは22~30g、Lは15~22g、Mは12~15g、Sは7~12gの正形果。育成場での平成25~27年の平均値。

普及 Dissemination

- 収益性の向上と作業の省力化を目指す産地で広く普及が見込まれます。
- 普及対象は全道のいちご栽培地域です。

連絡先 Contact

花・野菜技術センター
 研究部 花き野菜グループ
 0125-28-2800
 hanayasai-agri@hro.or.jp